

令和3年度 第2回練馬区放課後子ども総合プラン運営委員会 会議要録

- 1 日時 令和3年12月14日(火)午後6時30分～午後8時
- 2 場所 本庁舎7階 防災センター
- 3 議事および意見・質疑ならびに回答要旨
令和4年度に向けた練馬区立学童クラブおよび練馬区ねりっこクラブ運営業務委託事業者の決定等について

意見・質疑要旨

- ア 光が丘夏の雲小に新たにできる学童クラブは、どこの学童クラブから引継ぎを受けるのか。校舎内のどの場所に学童クラブができるのか。ゆうゆうぽてとはなぜ閉室されるのか。医療的ケアが必要な児童は、どこの施設で受け入れを行うのか。
- イ 東大泉地区区民館学童クラブの廃止に伴い、当学童クラブの児童の多くが大泉小ねりっこ学童クラブに移ることになる。引継ぎや準備委託は行われるのか。

回答要旨

- ア 光が丘夏の雲小に新たにできる学童クラブは、光が丘コスモス学童クラブと、光が丘しいのき学童クラブから引継ぎを受ける。光が丘どんぐり学童クラブとも情報共有を行う。小学校3階にある教室を改修して学童クラブを設置する。ゆうゆうぽてとは近隣にねりっこクラブができたこと、コロナにより長時間保育の需要が減ったこと等により運営事業者が閉室を判断した。医療的ケアが必要な児童は児童館、地区区民館および小学校内の学童クラブで受け入れを行う。
- イ 大泉小ねりっこクラブを新たに開始するにあたり、大泉北小ねりっこクラブと同等の準備委託を行う。また引継ぎではないが、東大泉地区区民館学童クラブと大泉小ねりっこクラブ間での連携を行う。

子育て支援課が実施する放課後事業の研修について

意見・質疑要旨

- ア 職員の入れ替わりが頻繁にあるように感じる。新しい職員も研修を受けられるのか。また研修の頻度について教えてほしい。
- イ ねりまチャージで「こどもパートナー認証」の資格を取得できるが、取得後のフォローアップ等の仕組みが分からない。
- ウ 地震対応、路上での嘔吐物処理対応およびAEDの扱い方等の実技について実際に体験できる研修を行ってほしい。ねりまチャージではひろばのスタッフが参加したいと思える内容やテーマをお願いしたい。
- (以下、ご意見のみ)
- エ 子どもの権利条約を取り上げてほしい。また研修によって職員が、自分が行っていることに自信を持ち、安定して仕事ができる環境を整えられるようにしてほしい。

オ 学校と民間学童の情報連携がうまくいっていない。また同じ地域の学童クラブ同士の連携の場がほしい。

カ 研修は、時代によって変わらない救急法や安全管理に関する内容については継続するとともに、社会的に認知が必要なものは新たに取り入れてほしい。また区の研修の中で子どもたちをどういう方向に育てていくのかという区のビジョンを示してもらいたい。それによって研修の内容もかわってくると思う。

キ 一方的に聴く研修はWEBやDVDでも可能で便利だが、この形ではできない情報交換を行うことも大事。子どもたちの抱える問題は微妙に形を変えていくので、形を変えながら研修を行ってほしい。

回答要旨

ア 常勤職員の入れ替わりは少ないが、非常勤職員の入れ替わりはある。区の研修は1年サイクルで行っている。そのほかに事業者で行う研修も受けてもらっている。

イ フォローアップの研修等について確認して情報提供していきたい。

ウ 今年度は児童館長の研修なども取り入れ、より身近なものになるよう工夫した。今後も検討したい。

エ～キ 子どもたちの放課後の充実のために、本日の意見を取り入れて研修について検討したい。

4 連絡事項

次回開催は令和4年3月中旬頃の予定。